

【報道関係各位】

2021年12月6日
一般財団法人 日本気象協会

日本気象協会 気象予報士 123名に調査を実施 2021年の「今年の天気を表す漢字」は「変」に決定

一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、理事長:長田 太、以下「日本気象協会」)は、日本気象協会に所属する気象予報士のうち123名の調査をもとに決定した「今年の天気を表す漢字」を12月6日(月)、発表します。



気象神社宮司 松井美加子さん

■2021年の「今年の天気を表す漢字」第1位は「変」

2021年は、日本気象協会に所属する気象予報士のうち123名に調査を行った結果、「変」が1位に選ばれました。

例年通りではない“おかしな”気象・気候という意味に加えて、地球温暖化や気候変動研究の基礎を作られた米プリンストン大上級研究員 真鍋淑郎氏のノーベル物理学賞受賞や、防災情報・気象情報にも大きな変化があったことなどが、主な選考理由です。

「変」が1位になるのは、2013年の調査開始以来、2015年に続いて2回目となります。

■2021年の「今年の天気を表す漢字」TOP5

1位の「変」に続き、2位から5位にはそれぞれ「雨」「災」「暑」「豪」が選ばれました。冬の北日本から西日本の日本海側を中心とした大雪や暴風、夏の西日本から東日本にかけての大雨および長雨、秋まで続いた季節外れの暑さといった、今年起こった特徴的な事象に関する漢字が選ばれる傾向にありました。

<TOP5と選考した気象予報士のコメント(※調査結果より一部抜粋)>

1位 「変」

「梅雨が長かったり、夏に長雨があったり、秋に気温が急変動したりと、おかしな天候が多かった。」

2位 「雨」

「7月の他、8月の大雨が強く記憶に刻まれたため。」

3位 「災」

「熱海市の土石流災害、西日本の集中豪雨など、雨によって今年もたくさんの災害が引き起こされた。」

4位 「暑」

「10月の真夏日回数の記録が各地で更新されるなど、今年は暑い期間が長かった。」

5位 「豪」

「1月の新潟や北陸などでの豪雪、8月の佐賀などでの豪雨があったから。」

＼ 気象予報士123人が選ぶ /

tenki.jp

2021年 今年の天気を表す 漢字



今回選ばれた漢字は、日本に唯一という「気象」の神社『気象神社(東京高円寺にある氷川神社境内)』にて、したためていただきました。各漢字の選考理由や過去8年間に選ばれた漢字との比較など、詳細は[「2021年お天気総決算～tenki.jp ラボ Vol.21～」](#)をご覧ください。

■「tenki.jp ラボ」に関して

「tenki.jp ラボ」では、より天気に興味を持っていただくことを目的として、天気に関わる情報と意識調査や気象予報士の知恵、時節に関わる見解や情報発信を行っており、今回で21回目の発表となります。また、「tenki.jp ラボ」による『お天気総決算』の調査と発表は2013年からスタートし、今年で9年目になります。

 **tenki.jp ラボ** URL : <https://tenki.jp/suppl/entries/8/> (PC/スマホ対応)

調査概要

- 【調査対象】 日本気象協会所属の気象予報士 123名
- 【調査方法】 インターネット調査
- 【調査期間】 2021年11月1日(月)～11月7日(日)

■天気予報専門メディア「tenki.jp(てんきじえーぴー)」 <https://tenki.jp>

日本気象協会が発表する気象情報を、Web サイト/スマートフォンアプリで無料提供している天気予報専門メディアです。年間ページビュー数は47億PV(Web ページ・スマートフォンアプリ合算での推定)。生活に欠かせない天気予報に加え、専門的な気象情報、地震・津波などの防災情報も確認できます。気象予報士が日々提供する「日直予報士」も人気コンテンツです。

- ・「tenki.jp」は、日本気象協会とALiNK インターネットの共同運営です。
- ・「tenki.jp」は、一般財団法人 日本気象協会の登録商標(登録第6129427号)です。
- ・「tenki.jp」ロゴマークは、一般財団法人 日本気象協会と株式会社 ALiNK インターネットの登録商標(登録第5763293号)です。

本情報を使用される際は、クレジット(「tenki.jp ラボ」調べ)と
サイトリンク(<https://tenki.jp>)を両方記載してください。